

インテ vs スイフトの白熱バトルは大津知也組が制す



毎回激戦が展開されるDE-2クラスはベスト3本と速さを見せた大津知也／森井康貴組が優勝。

昨

年は全日本ラリー選手権と併催された「NISSIN Rally丹後」だが、今年はJAF中部近畿ラリー選手権シリーズの第2戦、JMRC近畿SSラリーシリーズの第1戦に加え、TRD RALLY CUP by JBLの第2戦として開催された。

舞台となるのは京都府北部の京丹後市役所駐車場をスタート&ゴールとする約130km。SSは4本と少ないが、すべて10km越えのトータル約48kmで争われるというタフな一戦となった。この難コースに挑んだのは総勢51台。しかしリタイアは5台と完走率は高かった。

17台と最も参加台数の多かったDE-2クラスは、前戦3位だった大津知也／森井康貴組がSS1でベストタイムを叩き出した。2番手には前戦には出ず、全日本久万高原ラリーで武者修行を積んできた鮫島大湖／船木佐知子組が続いた。

SS2では仕事の関係で昨年はラリーに出られなかった茶谷圭祐／船木享史組がベストタイムを出す、ここでも鮫島組が2番手タイムを出して、トップ大津組とのタイム差を2.7秒と縮める。前戦優勝した親子の廣嶋浩／廣嶋真組はマシンをMR-Sからセリカに替えての挑戦だが、コンスタントにタイムを出し、鮫島組か

ら遅れること10秒で3位をキープしていた。

そしてその僅か0.8秒後方には茶谷組が付け、ラリーは目が離せない展開になっていた。しかし、サービスを挟んだSS3からは大津組が一気にスパートをかけ、2連続ベスト。そのまま逃げ切って、優勝を果たした。

「前回が不甲斐ない成績だったので、ボディ補強をし、バネや空気圧を自動車工学的に見直した結果、バッテリーはまりました」と茶谷選手。2位に敗れた鮫島選手は「久万高原の反省点から足回りを変えましたが、もう少し煮詰めるのに時間がかかりますね」と手応えは感じたラリーとなったようだ。3位争いは茶谷組が廣嶋組を逆転し、「2年ぶりのラリーでリハビリと思っていたのですがSS2でベストを取れたので行ける自信がつきました」と手放しの喜びようだった。

DE-5クラスは前戦で総合2番手のタイムで優勝した、中井育真／山田真記子組が今回も絶好調。4本のSSすべてをベストタイムで走り、2連勝を果たした。

「クルマが速く、総合的に曲がりやすいセッティングが良かったですね」と中井選手はニコリ。もちろん3連勝を目指すも鼻息も荒かった。2位は前戦に続き、加藤英佑／塩田卓史組。「SS1でリアが柔らかかったので、SS2で硬く

1. TRD RALLY CUPクラス2で2位入賞の吉原将大／佐野元秀組。2. 同クラス1で2位入賞の島根剛／山崎広喜組。3. ヒス-Bクラス優勝の梶井和寛／マクリン大地組。4. ヒス-Aクラス優勝の新垣浩／新垣久美子組。5. TRD RALLY CUPクラス1で優勝の毛受広子／赤木弥生組。6. 同クラス2では奥本直人／谷崎巧真組が優勝を飾った。





7. DE-5クラスで3位入賞の西村好正／松井弘成組。8. DE-1で3位入賞の笹岡亮佑／安田暢明組。9. 親子で参戦のDE-2 廣嶋浩／廣嶋真組は4位をゲット。10. 茶谷圭祐／船木淳史組はDE-2で3位入賞。11. DE-5クラスは中井育真／山田真記子組がライバルを寄せ付けず、快勝。12. DE-1クラスも豊田信寿／千崎浩一組が全SSベストを奪って完勝した。13. DE-5で6位獲得の牧瀬賢慈／藤井俊樹組。14. DE-2で6位入賞の高木充／安藤裕一組。15. DE-5徳能大輔／長澤奨平組は5位入賞。16. DE-2松村智／谷内壽隆組は4位入賞。17. DE-5で4位入賞の相原泰祐／山口佳祐組。18. TRD CUP2クラス表彰の皆さん。19. TRD CUP1クラス表彰の皆さん。20. DE-1クラス表彰の皆さん。21. DE-2クラス表彰の皆さん。22. DE-5クラス表彰の皆さん。23. 野田敏寛／中村清二組はDE-1で2位入賞。24. DE-2で2位入賞の鮫島大湖／船木佐知子組。25. DE-5の2位には加藤英佑／塩田卓史組が優勝。26. 波乱の展開となったDE-6クラスは唯一完走を果たした太田智子／斎田美早子組がラリー初優勝を飾った。

したらピーキーになってしまいました。戻して走ったらSS4は15秒アップしたんですが…。次までにセッティングを煮詰め直します」と加藤選手は反省しきり。

3位はシリーズ初参加の西村好正／松井弘成組が入ったが、「10kmを超えると集中力が切れて若い選手に負けました。5kmまでなら勝負できると思います(笑)」と西村選手は次戦に向けて抱負を語った。DE-1クラスも前戦の覇者、豊田信寿／千崎浩一組がこちらも全SSをベストタイムで走り、2連勝。豊田選手は「気持ちよ

く走れて良かったです。次はもちろん3連勝を狙います」と笑顔を見せた。

TRD RALLY CUP by JBLは86クラスの「CUP2」とヴィッツクラスの「CUP1」に分かれている。前戦は関東で開催されたネコステ山岳ラリーの中で開催されたが、全国各地の地方選手権と併催で全5戦がシリーズとしてカレンダーに組み込まれている。

CUP2には開幕戦のメンバーに加え、学生の奥本直人／谷崎巧真組がエントリー。ラリーはまだ4戦目ながら、「今回はペースノートを

ロストせず走れました」と、二人のコンビネーションも冴えたこともあって、2位の吉原将大／佐野元秀組に3.3秒差で逃げ切り、優勝した。

CUP1はSS2で島根剛／山崎広喜組がベストを奪うが、SS3で前戦のウイナー毛受広子／赤木弥生組がブチぎって逆転を果たし、2連勝。毛受選手は、「1ループ目はアンダーがきつかったので、回りの方々にアドバイスをもらってセッティングを変えた結果が、優勝に繋がりました」と周囲のサポートに感謝していた。